



2025-2026 年度主題

国際会長 エドワード・オン（シンガポール） Faith Lave Action
「信念、愛、行動」

アジア太平洋地域会長 田上 正（熊本むさし） Act now with faith and Love
「信念と愛をもって行動しよう」

東日本区理事 山下 真（十勝） "Rediscovering Y's Uniqueness"
「ワイズのらしさを再発見」

かながわ部長 兵藤 芳朗（鎌倉） 「共に歩み 交流を深め 部の“絆”を深めよう」
クラブ会長 久保 勝昭（横浜つるみ）

“Support Each Other~Enjoy Together”
「共に支え合い~共によろこびを」



2026年・新年に思う

横浜つるみワイズメンズクラブ会長 久保勝昭

2026年1月15日(木)新年例会を実施。クラブのチャーターは2019年6月だから今年の7月には、7年目に入る事になる。早いもので、あっという間であった。

5年目の時に記念例会を実施しようと考えていたが“コロナ禍”の影響が多少残っていた事も有りできなかった。2029年には10周年の記念行事が出来るように今から準備を始めたい。来期の役員は、前期と同じ会長は久保勝昭、副会長・松井美津子、書記・中村純子、会計・久米康子、監査・野辺良一と総会で承認された。殆ど代り映えない人事ではあるが現状のメンバー構成を考えると仕方ない事かも知れない。

1月17日(土)かながわ部の2回目の評議会が中央YMCAで15時~17時まで行われた。

※第1号議案：次次期部長（2027-2028年度）候補者選任の件。

※第2号議案：2026-27年度部役員及びクラブ会長について。

1号については、古賀健一郎氏（横浜クラブ）、2号に付いても原案通り可決された。

その後、舞台を中華街の廣東飯店に移し、横浜YMCAとワイズの新年会が18時より行われた。

出席者も佐竹総主事をはじめ山下東日本区理事と総勢47名で盛り上がった宴会になった。

私も、つるみクラブは、ゲストを含めた10名の参加を誇らしく思った。

後藤美紀さん（横浜YMCA常議員、会員事業委員）小橋侑里子さん（鶴見区在住）の二人の入会式を2月12日（木）にする事を伝え、盛大な拍手をいただいた。嬉しい！

コロナ禍も多少落ち着いて来た昨今、例会、イベント、ボランティア活動の参加も比較的やり易く、今期前半は、今までに無く忙しくやって来ました。メンバーの働きに本当に感謝しています。

しかし、クラブの状況を考えるとまた、同じような活動が出来るかは多少、疑問に思っています。

「うたごえ広場」「各ランチのまつり」「イベントの参加」等について例会、第2例会等で議論しながらクラブのプログラムを進めて行きたいと思っています。 本年もよろしくお願いします!!



YMCA とワイズ新年交流会

2025年度横浜つまみワイズメンズクラブ中間（7月～12月）事業報告

1. つまみクラブ例会：7月、8月、9月、10月、11月、12月と6回実施された。
※7月の例会では総会を実施。 ※12月のクリスマス例会には兵藤部長のクラブ訪問があり千葉氏（鎌倉）、佐藤会長（厚木）、後藤氏（会員事業委員）、小崎氏、駒井氏の参加があった。
2. つまみクラブ第2例会：7/26（土）8/23,9/27,10/25,11/27 12/19(金)臨時役員会
3. ちょこっと助け隊例会：7月、8月、9月、10月、11月、12月、6回実施
ちょこっと助け隊活動：8/10(日)引っ越し用段ボール組立、8/17(日)18(月)引っ越し手伝い
11/6(木)庭の枝切り・草むしり、11/17(月)庭の草むしり、12/16(火)・26(金)部屋の掃除
4. 東本郷地域ケアプラザ「うたごえ広場」実施。7、9、11・3回実施
5. 北YMCA「うたごえ広場」7、8、9、10、11、12・6回実施
6. 鶴見中央地域ケアプラザ「うたごえ広場」8、10、12、・3回実施
7. 7/19（土）かながわ部 第1回評議会：中央YMCA
8. Y-Ys 協議会 9/02(火)、12/02
9. 8/21(木)横浜ワイズメンズクラブ納涼会・ロイヤルホール横浜
10. 9/23(火・祝日)横浜 YMCA フェスタ 湘南とつか YMCA
11. 10/01(水)～10/15（水）横浜 YMCA チャリティーラン・オンライン大会
つまみクラブは、18チーム中5位でした。
12. 10/18（土）横浜 YMCA チャリティーラン・リアル大会
13. 10/19(日)鶴見中央地域ケアプラザまつり
14. 11/02・03（日・月）北YMCA まつり事前準備、値付け、3日はバザー
15. 1/07・08（金・土）生麦地域ケアプラザまつり
7日は値付け、焼きそば事前準備、8日はバザー
16. 12/25(木)鶴見川沿い清掃・ボランティア活動
17. 12/27(土)鶴見中央地域ケアプラザ大掃除・ボランティア活動

(2026年 1月 データ)

在籍会員数	例会出席者数		出席率
11名	メンバー	9名	82%
	ゲスト	2名	
	合計	11名	





介護保険ケアマネジャー業務について vol.1

横浜つるみワイズメンズクラブ 担当主事 石川

本日は、私の日常業務について少しだけ触れていきたいと思います。
普段は介護支援専門員(ケアマネジャー)の業務を行っています。
主な役割は以下の3点です。

- ① 相談とプラン作成
- ② 連絡・調整
- ③ 手続き代行

以上が主な役割です。本人、家族の困りごとを聞き取り、
自立した生活を送る為の最適な計画書(ケアプラン)を作成します。
文章にまとめるとすごく短くシンプルな仕事のように思えますが、
とても奥深さを感じています。



介護は突然やってきます。昨日まで元気だったはずが骨折や病気、
様々な出来事があり、本人家族はとても受け止めきれない状況もあります。

介護保険での支援を開始していくには、本人と介護保険事業所の契約行為が必要になります。
上記①②③の順番で進んでいきます。

皆様ならどんな介護支援専門員にお願いしたいでしょうか？
また、次回にも続きを記載していきたいと思います。

介護者のつどい

アマリリスの会は介護の悩みや困りごとを話し介護や生活に関する情報を得る事ができる
日頃の疲れを癒す場です。毎月開催する事で参加者同士の関係を構築できる会です。

12月のアマリリスの会はクリスマス会でした。ツリーを出してクリスマスデコレーションを
したあと、ケーキと紅茶で茶話会しながら談話いたしました



アマリリスの会参加した皆様

(鶴見中央地域ケアプラザ 横山)

2月にマッサージの会とヨガを予定しております。見学だけでも構いませんので、
ご興味のある方は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

2026 年神奈川部 横浜つるみワイズメンズクラブ 1 月新年例会

日 時：2026 年 1 月 15 日（木） 16 時～18 時

会 場：鶴見中央地域ケアプラザ・多目的ホール

出席者：石川担当主事、久保、久米、駒井、中村、松井、横山、吉本、渡邊

ゲスト：ビジター：後藤美紀氏（会員事業委員）、小崎侑里子氏

プログラム

「司会進行」

松井美津子副会長

ピアノ：吉本正子

「開会点鐘」

※ワイズソング・ワイズの信条

全 員

「会長挨拶」

久保勝昭

「報告事項」

1. 2025 年 12 月 19 日（金） 10 時～12 時 つるみクラブ第二例会時

2026 年 1 月の総会について、新規役員候補の件、北 YMCA 歌の広場の確認

2. 1 月 11 日（日）14 時～16 時 東本郷ケアプラザ「歌の広場」の件

YMCA 報告」 石川担当主事ご挨拶

1. ちょこっと助け隊 （事業報告プリント参照）

2. 横浜中央 YMCA 行事

《横浜つるみワイズメンズクラブ総会》 ※会長が議長となり議事の進行を務める

第 1 号議案 2026 年度～27 年新規役員が下記の通り選出された。

会長：久保勝昭 副会長：松井美津子、書記：中村純子、会計：久米康子、監査：野辺良一

第 2 号議案 中間事業報告久保勝昭 （プリント参照）

第 3 号議案 中間決算報告 久米康子（プリント参照）

「連絡事項」

イ. 1 月 16 日（金）北 Y「歌声広場」13 時受付開始 13 時 30 分～15 時 20 分

ロ. 1 月 17 日（土）神奈川部 第 2 回評議会 15 時～17 時 中央 YMCA

会場：中華街 「廣東飯店」 18 時～20 時 ☎045—681—7676

ハ. 2 月 11 日（水・祭日）2025 年度会員大会—ピースフォーラム 10 時～12 時 30 分 会場：湘南とつか YMCA

ニ. 2 月 12 日（木）14 時～15 時 30 分、鶴見中央地域ケアプラザ「歌声広場」

16 時～18 時 つるみクラブ 2 月例会 鶴見中央地域ケアプラザ 多目的ホール

「閉会点鐘」

**⑩ 熊の被害に思う**

この秋から冬の初めに東北を中心にあちらこちらに熊の出没が事件になり問題になっています。とくに近年は住宅地や都市の中心部に出てきていて人々が襲われ亡くなった人もかなり出ました。秋の初めに群馬県の老神温泉を訪れて吹割の滝という観光名所を訪れましたがそれから少しして熊が出て周辺が立ち入り禁止になりました。周りが山に囲まれている地域でいつ出てもおかしくないとは思っていましたが。ただ少しの差でこういう状態になって怖いと思いました。この状態になったのは熊に問題があるのではなくて人間側だと思う。地方では人口が減り里山がなくなり耕作放棄地域が増え、いろいろな餌になる物が放置されている。そしてその地区の熊の適正な頭数もわからなくなっている。もちろん駆除するのは当然だが根本的なところを解決しないと今後もこの状況は続いてしまうと思う。きちっと管理できている海外の例をよくみて実行すればと思う。そして「駆除はかわいそう」とか「山へ返せば良い」等の意見があり、中には延々と文句をつける人もいる。根本的に犬や猫と違って熊はペットではない猛獣だという事を知ることだと思う。一部には生き物を殺すことは悪だという人がいるが、その人達は牛や豚、魚などは殺して食べる事に関してはどういう意見なのか。すべてにおいて極端は良くないと思う。今後良い解決策で収まると良いなと思う。

（野辺 良一 記）